

# ENVI Agent / IDL Agent インストールガイド

## 1. はじめに

本書では、ENVI Agent と IDL Agent のインストールの手順を記載します。ENVI Agent は ENVI の解析作業、IDL Agent は IDL プログラミングに AI 支援機能を提供します。AI 支援機能の利用環境は VS Code 上で GitHub Copilot を使用します。ENVI/IDL Agent 共に同じ環境下で使用します。

## 2. 用語の説明

前提となる用語とその説明を記載します。

表 1: 用語説明

用語	説明
<b>VS Code</b>	Visual Studio Code は Microsoft が提供する軽量・高速なコードエディタです <sup>1</sup> 。Windows, Mac, Linux 上で動作します。
<b>IDL for VSCode</b>	Visual Studio Code へインストールして使用する IDL/ENVI の開発拡張機能です。VS Code はエディタとして動作し、コンパイル/実行はインストールしている IDL で実施されます。
<b>IDL Notebook</b>	IDL コードを対話的に実行できるノートブック環境です。VS Code の中で開き、個別のブロック(セル)ごとに IDL を実行可能です。IDL for VSCode に含まれますので、別途インストール等は必要ありません。

<sup>1</sup> VS Code と Visual Studio はどちらも Microsoft から提供されていますが、VS Code はコードエディタで完全無料であるのに対して、Visual Studio は C++等の統合開発環境(IDE)で一部有料です。

### 3. 動作要件

以下へ動作要件を記載します。

- ENVI 6.2 以上 または IDL 9.2 以上
- ENVI および IDL のライセンスが有効な状態
  - ENVI Agent は、ENVI+IDL ライセンスに加え、ENVI Agent のオプションライセンスが必要
  - IDL Agent は 9.2 以降のライセンスがあれば利用可能
- インターネット接続必須
- VS Code 最新版
- IDL for VSCode (拡張機能、バージョン 6.0 以降)
- GitHub Copilot サブスクリプション契約

※インターネット接続環境の確保および GitHub Copilot サブスクリプションの契約につきましては、お客様側でご準備いただきますようお願いいたします。

### 4. インストール手順概要

ENVI Agent と IDL Agent を導入する手順の概要を以下へ記載します。

1. IDL 9.2 以降または ENVI6.2+IDL9.2 をインストールし、ライセンス認証まで実施します。IDL と ENVI+IDL のインストールについての詳細は、以下にインストールガイドがありますので、実施の際はご利用ください。

[弊社ホームページ](#) > 技術情報 > 技術資料(日本語) > 製品名+バージョン日本語ドキュメントのダウンロード

※製品名+バージョンは、IDL9.2 等お持ちの製品とバージョンを指しています。

2. VS Code をインストールします。
3. IDL for VSCode 拡張機能をインストールします。

## 5. インストール手順詳細

手順の詳細では、IDL や ENVI+IDL をインストールし、ライセンス認証は終了している前提で、上記手順 2 以降からの詳細を記載します。

### 5.1. VS Code をインストール

1. インストーラが配置されている URL へアクセスし、コンピュータに合ったインストーラをダウンロードしてください。Visual Studio Code のインストーラ種別に関する指定はありません。利用環境に応じたものを選択してください。一般的には、ユーザーインストーラやシステムインストーラが使用されます。

インストーラ URL:

<https://code.visualstudio.com/download>

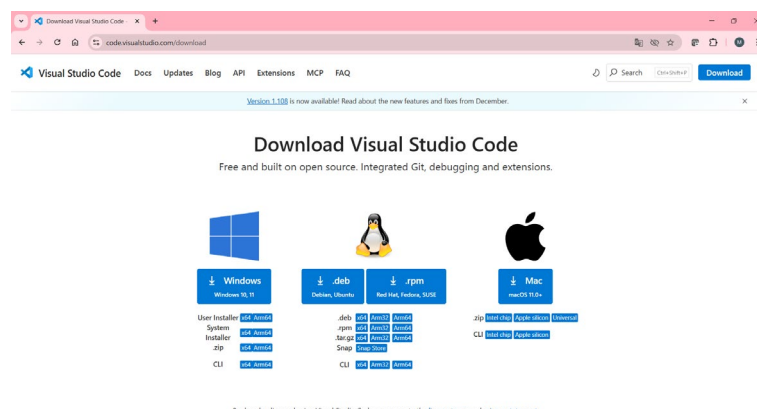


図 1. VS Code インストーラダウンロードサイト

表 2: Windows 版のインストーラ

種類	特徴	使用ケース
User Installer	ユーザー単位 / 自動更新あり	通常の PC、個人利用
System Installer	全ユーザー対象 / 管理者権限必要	共有 PC、社内端末
.zip	展開して実行(インストール不要)	制限環境、持ち運び用途
CLI	コマンドライン環境	CUI 環境で利用

表 3: Linux 版のインストーラ

種類	特徴	使用ケース
.deb / .rpm	OS のパッケージ管理に統合 (apt / yum など)・依存関係も自動管理	通常利用 (Ubuntu / RHEL 系など)
.tar.gz	手動展開で使用(インストール不要) パス設定が必要	制限環境・カスタム配置
Snap	自動更新・サンドボックス環境	管理を簡略化したい場合
CLI	コマンドライン環境	CUI 環境で利用

表 4: Mac 版のインストーラ

種類	特徴	使用ケース
.dmg (公式インストーラ)	GUI でインストール Applications に配置	通常利用 (標準)
CLI	コマンドライン環境	CUI 環境で利用

- ダウンロードしたインストーラを実行し、使用許諾契約を承諾します。[同意する]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

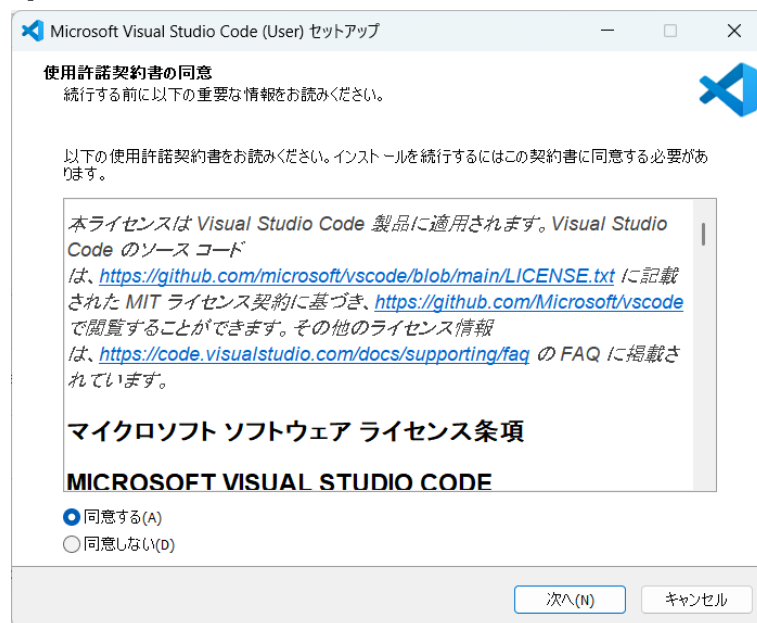


図 2. 使用許諾契約ダイアログ

- インストール時に追加するタスクを選択し、[次へ]をクリックしてください。選択内容は任意です。必要なものを選択してください。

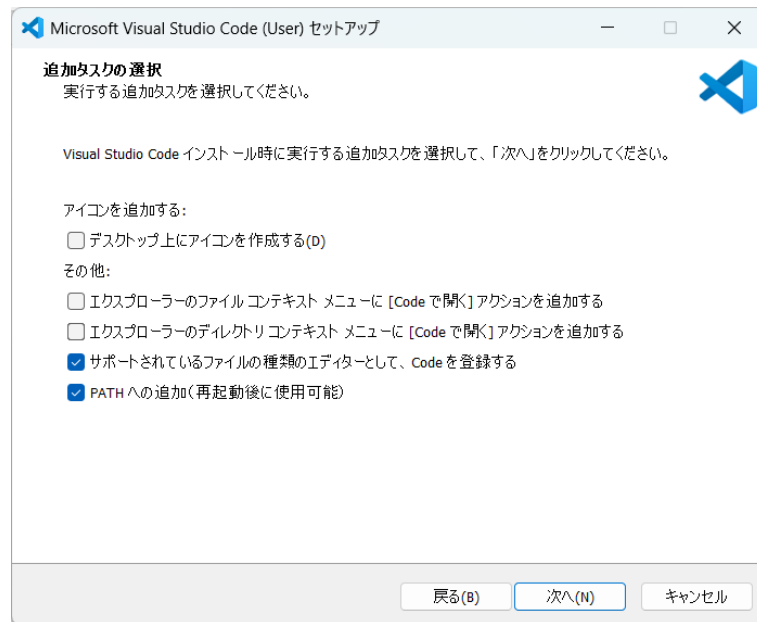


図 3. 追加タスクの選択ダイアログ

4. インストールを実施します。[インストール]ボタンをクリックすると、インストールが開始します。

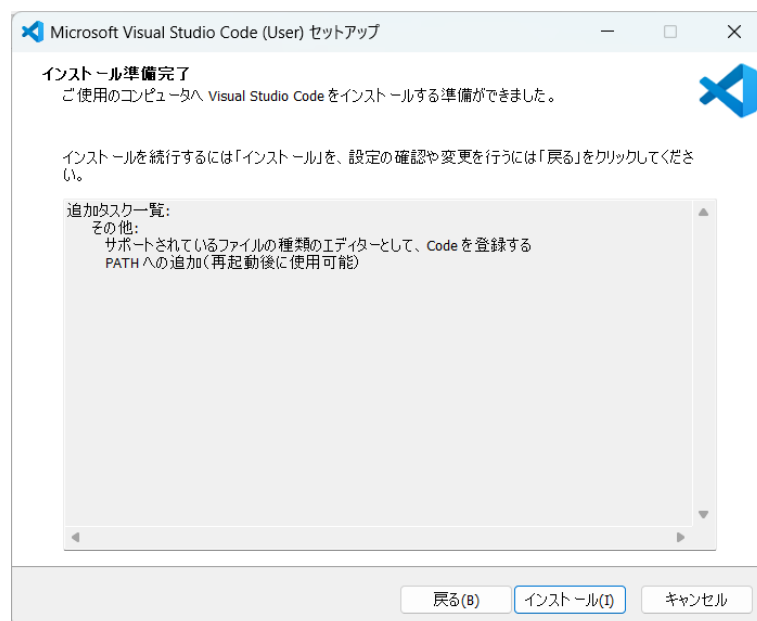


図 4. インストール準備完了ダイアログ

5. インストールが終了後、[Visual Studio Code]を実行するにチェックが入っています。そのままにし、[完了]ボタンをクリックすることで、自動的に VS Code が起動します。

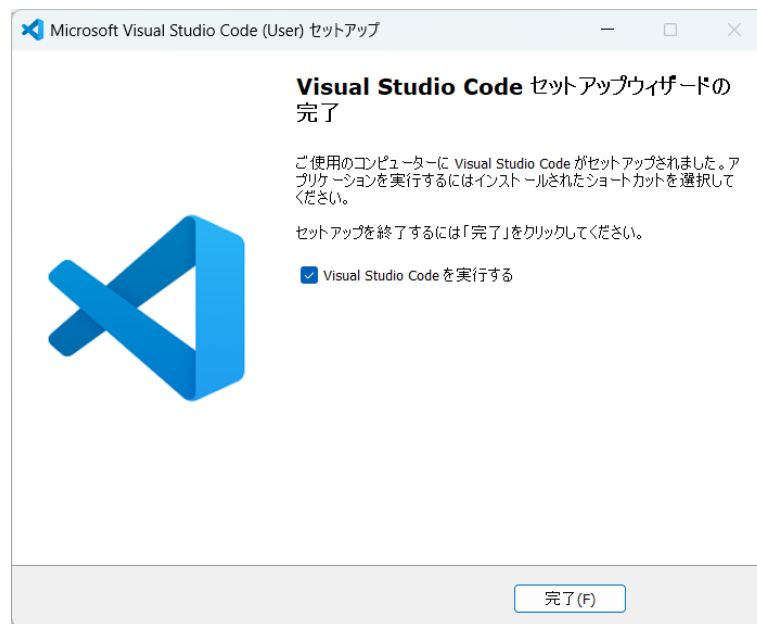


図 5. インストール完了ダイアログ

## 5.2. IDL for VSCode をインストール

1. VS Code 起動後、IDL for VSCode をインストールします。インターフェース左側の拡張機能アイコンをクリックし、[EXTENSIONS] > [IDL for VSCode]を検索し、インストールボタンを押下し、インストールしてください。日本語が適用されている場合は、[EXTENSIONS]は[拡張機能]と表示されています。日本語化は、同じく拡張機能アイコンから「Japanese Language Pack for Visual Studio Code」を検索してインストールし、エディタを再起動するだけで完了します。

IDL for VSCode は以下の URL から取得可能です。

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=IDL.idl-for-vscode>

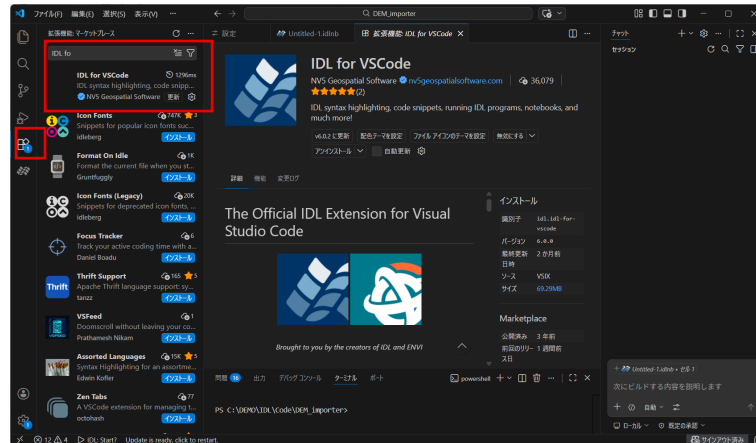


図 6. VS Code の拡張機能

- インストール後、インターフェース左側に IDL のアイコンが表示され、Notebook の起動や、Tutorial といったメニューが確認できます。

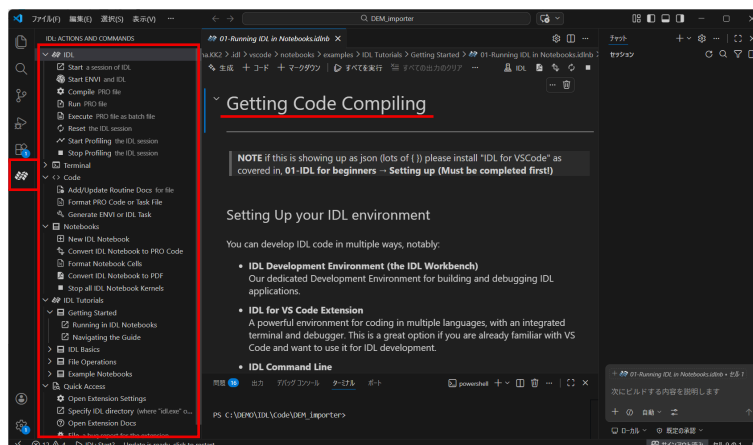


図 7. VS Code 内での IDL

- チャットエディターを開き、IDL Agent を起動します。  
VS Code 上段の検索バーの右にある吹き出しマークをクリックします。その中から「新しいチャットエディター」を選択すると、AI とのチャットを開始できます。

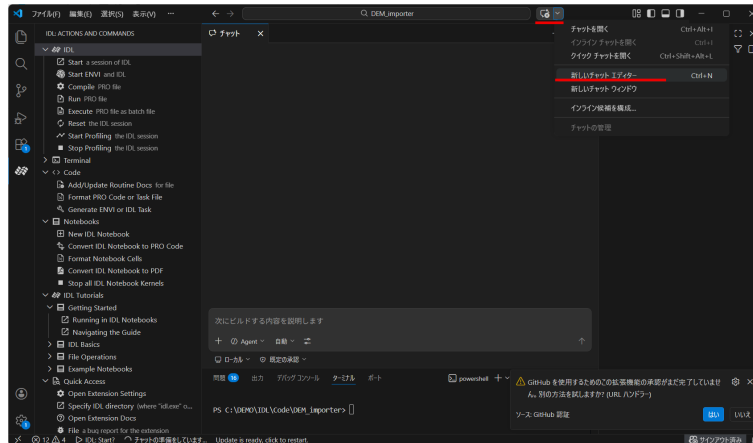


図 8. IDL Agent を使用する

- IDL Agent の利用には GitHub Copilot のユーザログインが必要です。右下にメッセージが表示されますので、[GitHub 認証]という点を確認し、[はい]をクリックしてログインを進めてください

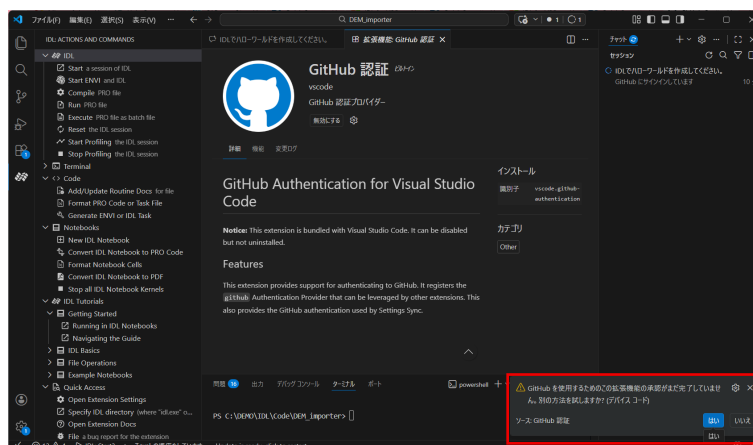


図 9. GitHub Copilot へログイン

- ログインできましたら、ENVI と IDL Agent が利用可能です。弊社にて公開しているクイックスタート等を参照し、利用してください。基本的には、ENVI Agent のライセンスが認証されている場合、IDL Agent のチャットウィンドウにて ENVI の処理を入力すると、ENVI Agent として実行されます。

GitHub Copilot をご利用時に、大規模言語モデル (LLM) を選択することができますが、選択可能な大規模言語モデル (LLM) は、GitHub のアカウント管理メニューから明示的に有効化 (Enable) する必要があります。もし、使用したい大規模言語モデル (LLM) が有効でない場合は、GitHub Copilot の契約管理者様へ確認してください。

また、その他 AI クレジットの消費量の制限等につきましても契約管理者様へご確認ください。

## 6. 参考資料

IDL Agent や ENVI Agent を初めて利用する場合、以下のような資料があります。

日本語資料

- IDL Agent クイックスタート
- ENVI Agent クイックスタート

英語資料

- [Quick Start: IDL Agent](#)
- [Quick Start: ENVI Agent](#)
- [Jumping into IDL for VSCode](#)

## 7. FAQ

VS Code や GitHub Copilot については弊社製品ではないため、問題が発生した場合、解決が難しい可能性があります。以下の FAQ 等も含め、各製品サポートへのお問い合わせもご検討ください。

- [Visual Studio Code FAQ](#)
- [GitHub Copilot FAQ](#)
- [GitHub Copilot Support](#)

## 8. 問い合わせ先

ご不明点・ご質問がある場合は、弊社の製品技術サポートにお問い合わせください。

NV5 Geospatial 株式会社 製品技術サポート  
support\_jp@NV5.com